

1. 面接官の印象

《外国人面接官》

白人男性、30～40代くらい、明るくて感じが良い

《通訳ガイド》

女性、40代くらい、ソフトな感じの優しい方

2. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- 講談
- マイナンバーカード
- ゆず湯

《選択したトピック》

『 ゆず湯 』

《発表した内容》

ゆず湯はレモンやライムの一種、ゆずを使った風呂で、12月初めに入ります。自宅でも銭湯でも行います。ゆず湯に入るとその冬風邪を引かないと言われていています。日本では季節によって様々なお風呂があり、5月にはショウブ湯というものもあります。これはショウブの葉を使ったいい香りのお風呂です。日本の銭湯では季節による様々な風呂があるため、試してみるのも良いでしょう。

《質疑応答について》

NS	ゆず湯はどうやって行うか
I	5、6個購入してお湯に入れる
NS	使った後のゆずはどうするか
I	普通は料理の味付けに使うものだが、ゆず湯の後には食べられない

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

相撲は2人の力士が土俵で闘う日本の国技です。土俵の外に押し出すか、相手の体の一部が地面についたら、勝ちです。大相撲の観戦は非常に人気があり、年に6回違う都市で開催されます。

4. ロールプレイについて

《場面設定》

外国人観光客のお客様が相撲は3時間かかると聞いて長すぎると感じている。通訳案内士としてどう対応するか。

条件：定年退職後の老夫婦

《ロールプレイ》

I	ちょうど間に土俵入りというパフォーマンスがあり、見応えがあるので、そこから以降、後半を見てはどうか。最初の方はランクの低い力士の取り組みだが、土俵入り以降は重要な強い力士が見られる。(→それは良い)
NS	何か持っていくものはあるか
I	特にない。席によっては・・・(注 オペラグラスを持っていけばよいと言いたかったが単語が出ませんでした。)
NS	写真はとってもよいか
I	ダメである(注 間違い。フラッシュなしなら OK)
NS	相撲のチケットはいくらくらいか?
I	前の方だと2万円くらいするが一番遠い席であれば2千円くらい。
NS	相撲の会場はどこにあるか
I	両国。バスでも行けるし JR 総武線でも行ける

5. 試験を終えての感想

9月半ばからという遅い準備開始でしたが、参考書とCDを自分なりに、シャドーイング、書き写し、単語ピックアップ、項目ごとにリピート、など繰り返して使う勉強をしていました。

富士通訳ガイドアカデミーの2次試験直前セミナーに出て初めて、2分プレゼンテーションが一番の弱点であることを認識しました。いただいた過去問一覧を使って、最後の1ヶ月は様々なタイトルを2分でプレゼンしてみる、を繰り返しました。可能な時間を精一杯使って、やれることはやりました。

プレゼンの3題が想定も練習したこともないものばかりだったため、呆然としてしまいましたが、それでもやれる準備はやったのだからと、落ち着いて臨むことができました。

自分の当たった題目が未知のものだったせいか、プレゼンの題目については、近年定番離れが激しく、準備不能になりつつあるという印象を受けました。

2次試験直前セミナーといただいた資料(+「三密」など追加資料)は的を得たもので、直前まで大変役に立ちました。色々お世話になりありがとうございました。